

ANAホールディングス株式会社 説明会

2025年3月期 第1四半期決算

2024年7月30日

取締役 常務執行役員
グループCFO

中堀 公博



目次

1. 2024年度 第1四半期決算

業績ハイライト

当年度と前年度各四半期の業績比較	P. 3
事業別のポイント	P. 4

連結決算概要

経営成績	P. 5
財政状態	P. 6
キャッシュフロー	P. 7
セグメント別実績	P. 8

航空事業

収入・費用	P. 9
営業利益 増減要因	P. 10
ANA国際旅客	P. 11-14
ANA国内旅客	P. 15-16
ANA国際貨物	P. 17-19
ANA国内貨物	P. 20
Peach Aviation	P. 21-22
AirJapan	P. 23
ANA国際線 方面別実績（構成比）	P. 25-26
燃油・為替ヘッジの進捗状況（ANA）	P. 27
航空機数	P. 28

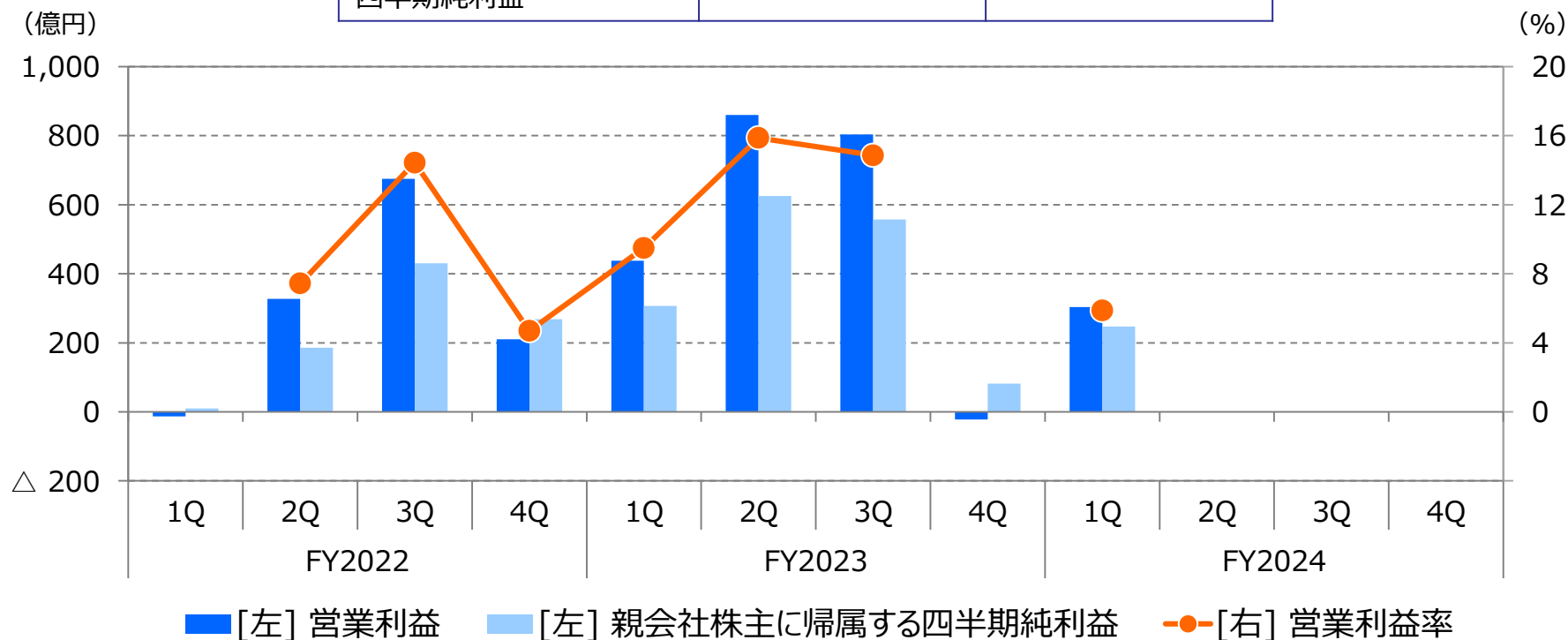
ノンエア事業

航空事業以外のセグメント	P. 29
--------------	-------




当年度と前年度各四半期の業績比較

旅客・貨物ともに需要回復が継続、売上高は第1四半期として過去最高を更新
営業利益は前年対比で減益も、年度計画に対して順調に進捗

【2024年度（連結）】	第1四半期	前年差
売上高	5,167億円	+ 557億円
営業利益	303億円	△ 134億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	247億円	△ 59億円



事業別のポイント

	第1四半期の概況	収入前年比(差)	主な指標
 国際旅客	1) 旺盛な訪日客や日本発の業務渡航需要を着実に獲得 2) 円安の影響も寄与し、高いイールド水準を維持	+13% (+222億円)	イールド(前年比) +3%
国内旅客	1) 前年セールの裏年も、レジャー需要を中心に旅客数を拡大 2) 3月末発券分から一部運賃の値上げを実施	+6% (+90億円)	旅客数(前年比) +1%
国際貨物	1) アジア・中国発の三国間貨物を積極的に取り込み 2) 中国発Eコマース需要が好調で、北米向け単価が向上	+13% (+49億円)	単価(前年比) +11%
	1) 好調な台湾線・韓国線を中心に、国際線の売上を拡大	+11% (+29億円)	単価(前年比) +8%
	1) 4月に2号機目を導入し、成田=シンガポール線を開設	19億円 (実績)	L/F(実績) 52%

経営成績

(億円)	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差
売上高	4,610	5,167	+ 557
営業費用	4,172	4,864	+ 691
営業利益	437	303	△ 134
営業利益率 (%)	9.5	5.9	△ 3.6pt
営業外損益	△ 5	64	+ 69
経常利益	432	368	△ 64
特別損益	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	306	247	△ 59
四半期純利益	309	246	△ 62
その他包括利益	276	243	△ 32
包括利益	586	490	△ 95

財政状態

(億円)	FY2023 期末	FY2024 第1四半期末	前年度 期末差
総資産	35,695	36,283	+ 588
自己資本	10,445	10,699	+ 254
自己資本比率 (%)	29.3	29.5	+ 0.2pt
有利子負債残高	14,840	14,501	△ 338
D/ELシオ (倍)	1.4	1.4	△ 0.1
手元流動性資金 *1	12,578	13,034	+ 456
純有利子負債残高 *2	2,262	1,467	△ 794
ネットD/ELシオ (倍) *3	0.2	0.1	△ 0.1

*1 手元流動性資金 = 現金及び預金 + 有価証券

*2 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - 手元流動性資金

*3 ネットD/ELシオ = 純有利子負債 ÷ 自己資本

キャッシュフロー

(億円)	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差
営業キャッシュフロー	1,394	1,093	△ 301
投資キャッシュフロー	△ 692	△ 1,984	△ 1,291
財務キャッシュフロー	△ 432	△ 578	△ 145
現金及び現金同等物の増減額	298	△ 1,430	△ 1,728
現金及び現金同等物の期首残高	11,134	10,025	} △ 1,430
現金及び現金同等物の期末残高	11,433	8,595	
減価償却費	353	364	+ 11
設備投資額（固定資産のみ）	435	248	△ 186
実質フリーキャッシュフロー （3ヶ月超の譲渡性預金等を除く）	1,103	994	△ 109
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	791	668	△ 123
EBITDAマージン（%）	17.2	12.9	△ 4.2pt

セグメント別実績

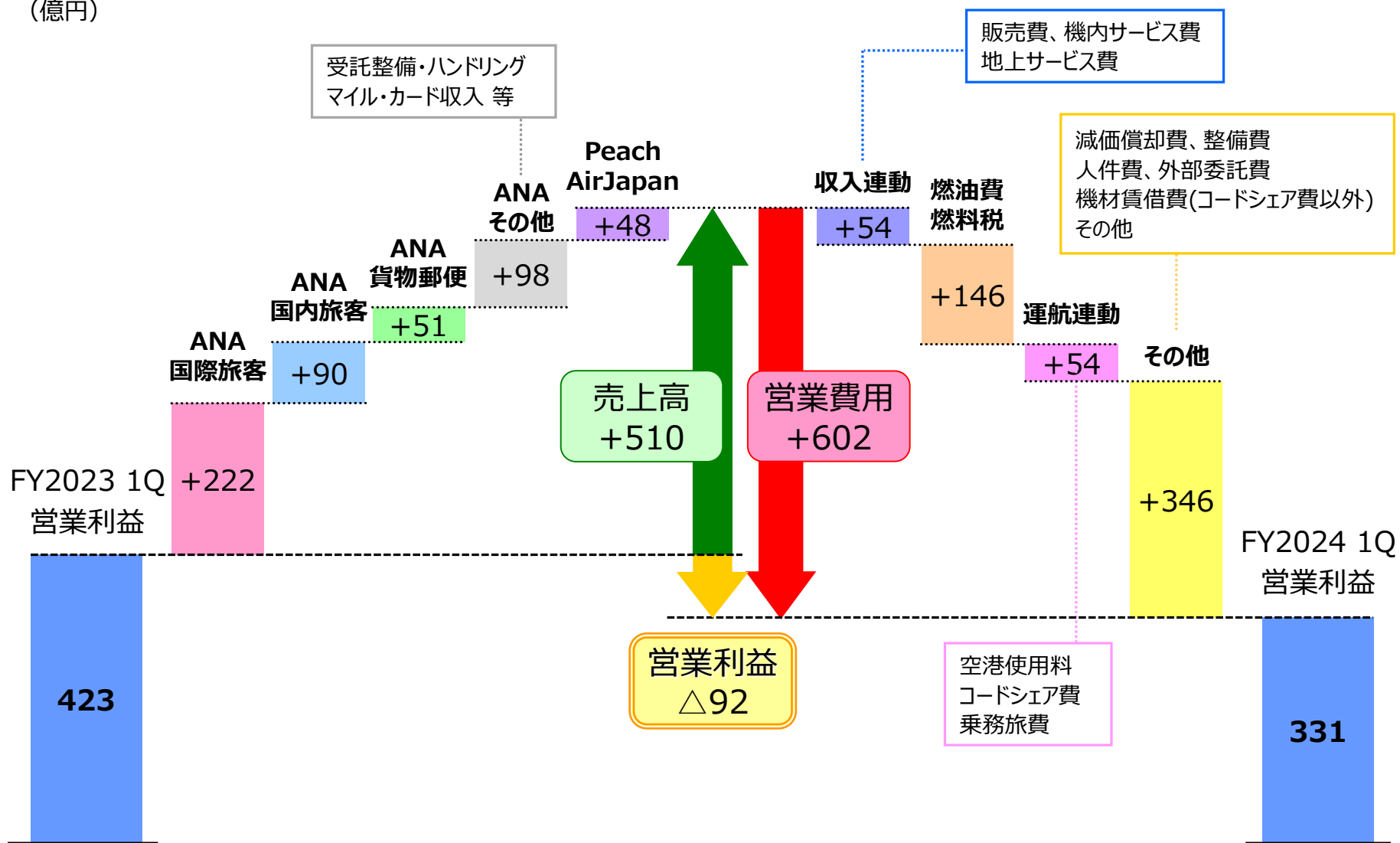
(億円)		FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差
売上高	航空事業	4,185	4,695	+ 510
	航空関連事業	675	750	+ 75
	旅行事業	177	166	△ 10
	商社事業	275	318	+ 42
	その他	90	103	+ 12
	調整額	△ 793	△ 867	△ 73
	合計 (連結)	4,610	5,167	+ 557
営業利益	航空事業	423	331	△ 92
	航空関連事業	31	△ 0	△ 32
	旅行事業	1	△ 7	△ 8
	商社事業	11	13	+ 1
	その他	0	2	+ 2
	調整額	△ 31	△ 35	△ 4
	合計 (連結)	437	303	△ 134

収入・費用

(億円)		FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差
売上高	ANA 国際旅客	1,673	1,895	+ 222
	ANA 国内旅客	1,425	1,516	+ 90
	ANA 貨物郵便	453	504	+ 51
	ANA その他	355	453	+ 98
	Peach・AirJapan	277	325	+ 48
	合計	4,185	4,695	+ 510
営業費用	燃油費・燃料税	861	1,008	+ 146
	空港使用料	197	249	+ 51
	航空機材賃借費	360	358	△ 2
	減価償却費	340	350	+ 9
	整備部品・外注費	391	545	+ 153
	人件費	465	533	+ 68
	販売費	129	150	+ 20
	外部委託費	596	672	+ 75
	その他	419	496	+ 77
	合計	3,761	4,364	+ 602
営業利益	423	331	△ 92	
EBITDA (営業利益+減価償却費)	764	682	△ 82	
EBITDAマージン (%)	18.3	14.5	△ 3.7pt	

営業利益 増減要因

(億円)



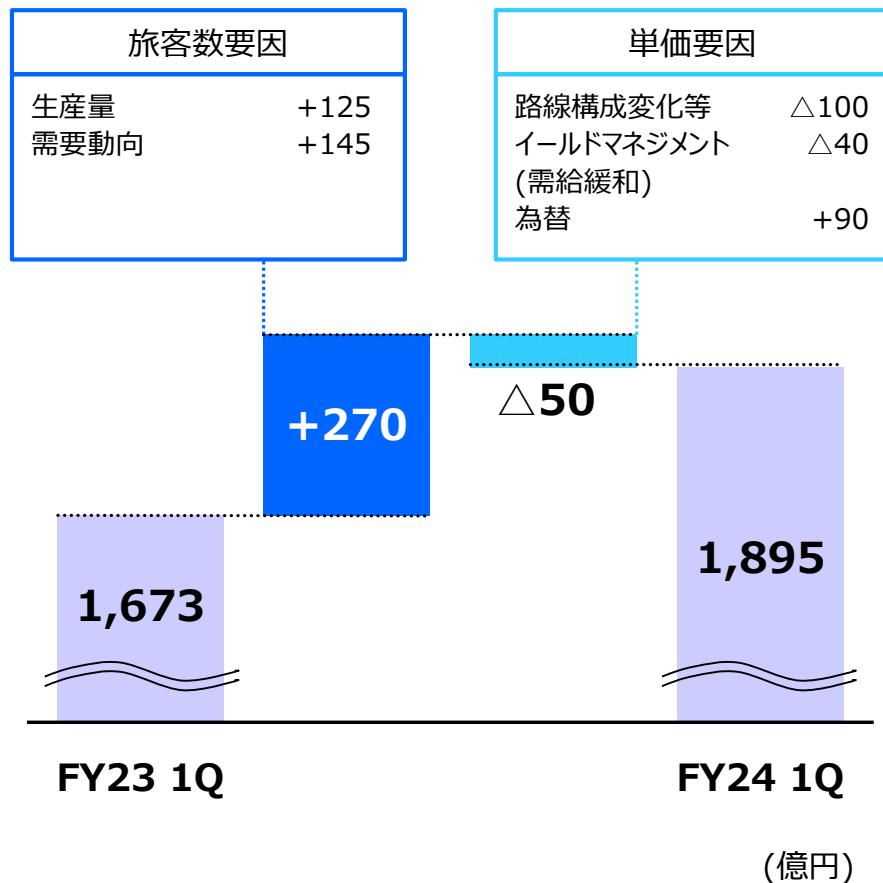
ANA国際旅客

	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	12,556	13,853	+ 10.3
旅客キロ (百万)	9,698	10,697	+ 10.3
旅客数 (千人)	1,623	1,886	+ 16.2
座席利用率 (%)	77.2	77.2	△0.0pt*1
旅客収入 (億円)	1,673	1,895	+ 13.3
ユニットレベニュー (円) (旅客収入/座席キロ)	13.3	13.7	+ 2.7
イールド (円) (旅客収入/旅客キロ)	17.3	17.7	+ 2.7
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	103,058	100,497	△ 2.5

*1 座席利用率のみ前年差

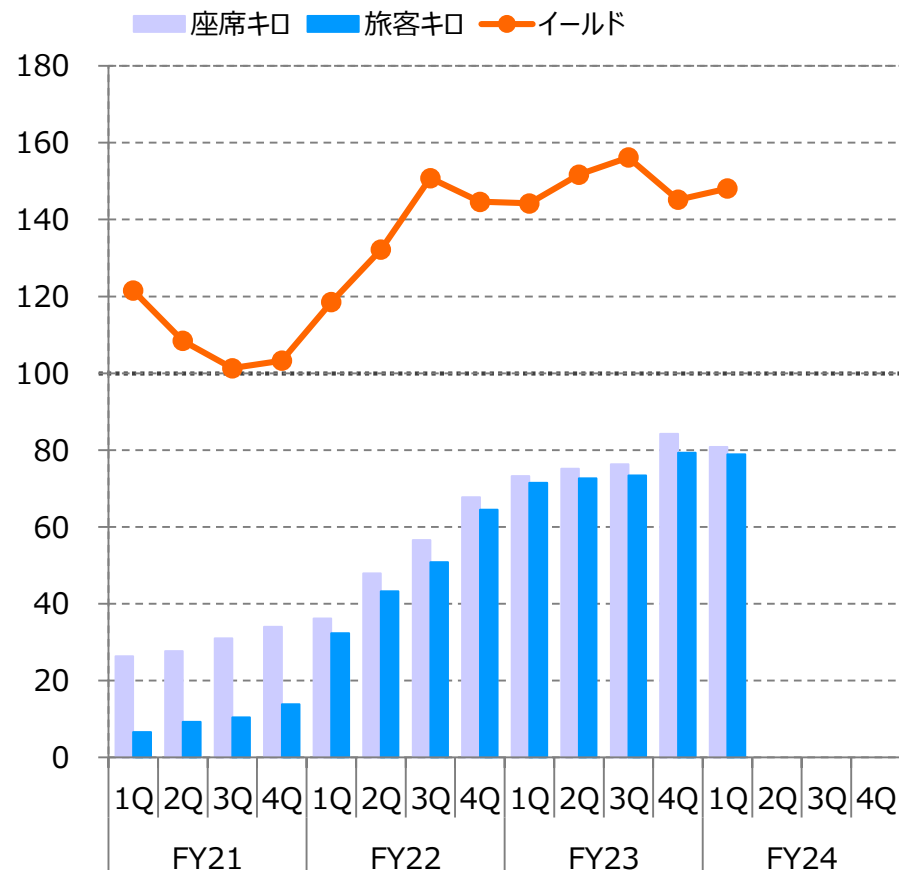
ANA国際旅客（事業動向）

第1四半期 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100



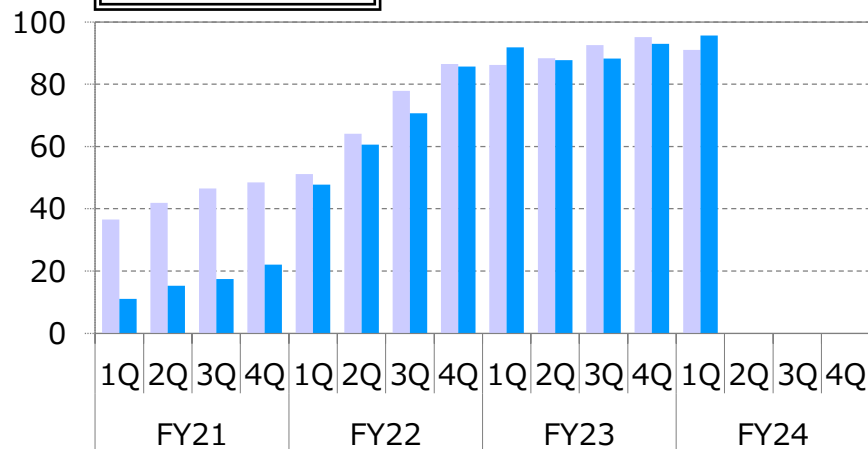
* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国際旅客（方面別 座席キロ・旅客キロ推移）

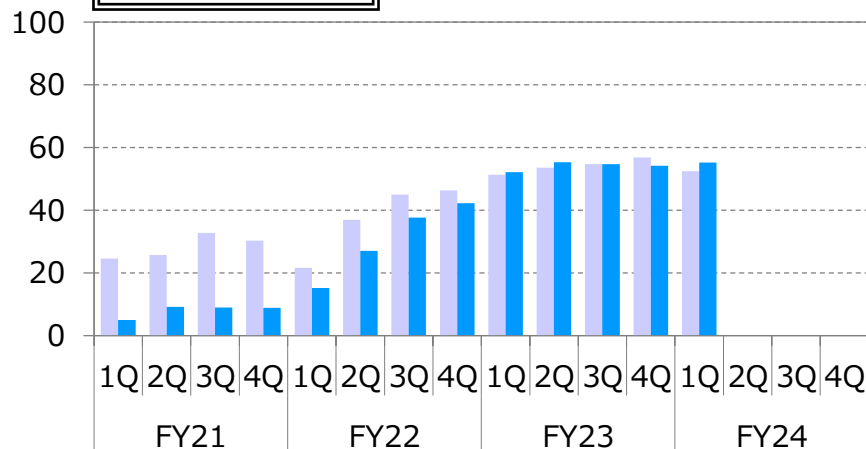
指数：コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100

■：座席キロ ■：旅客キロ

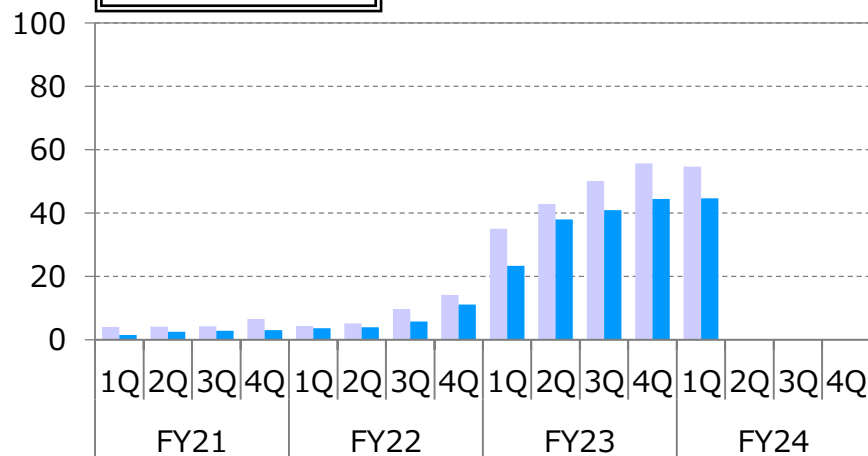
北米



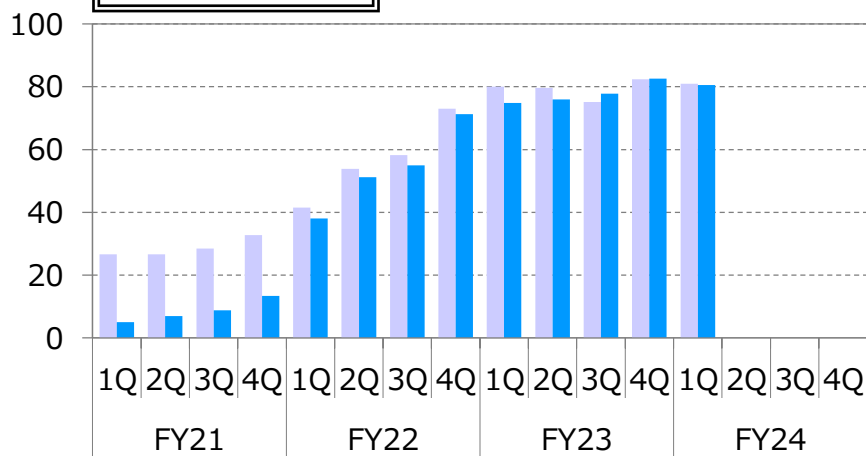
欧州



中国



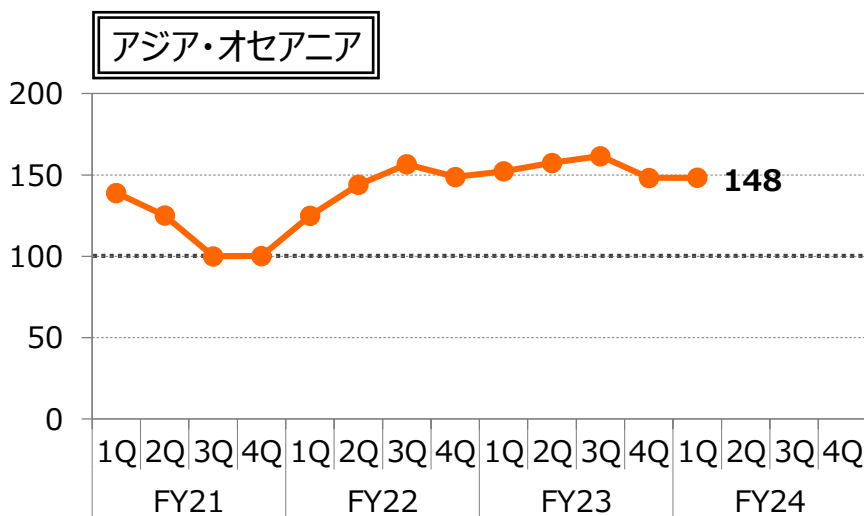
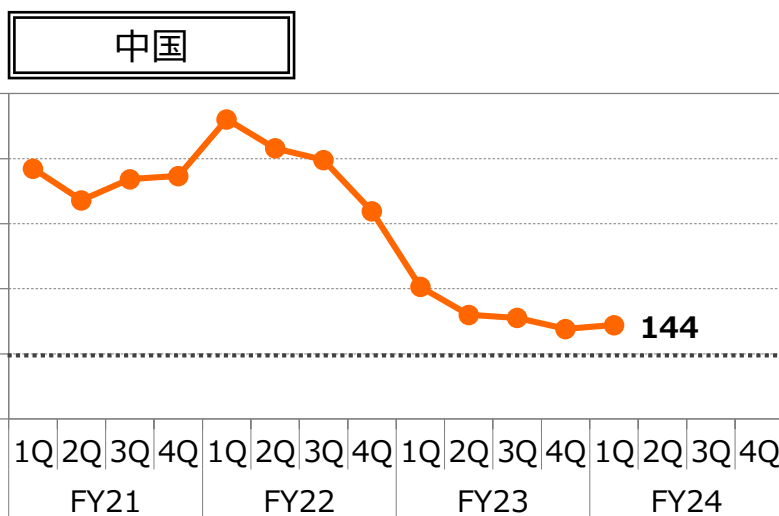
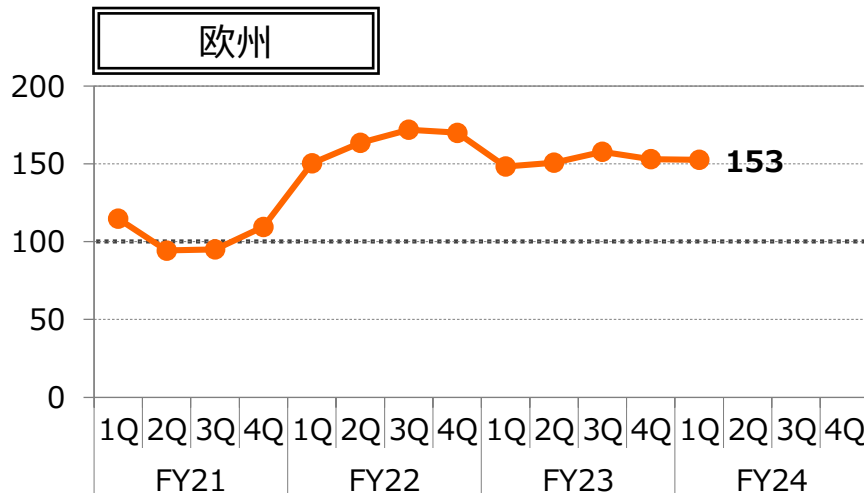
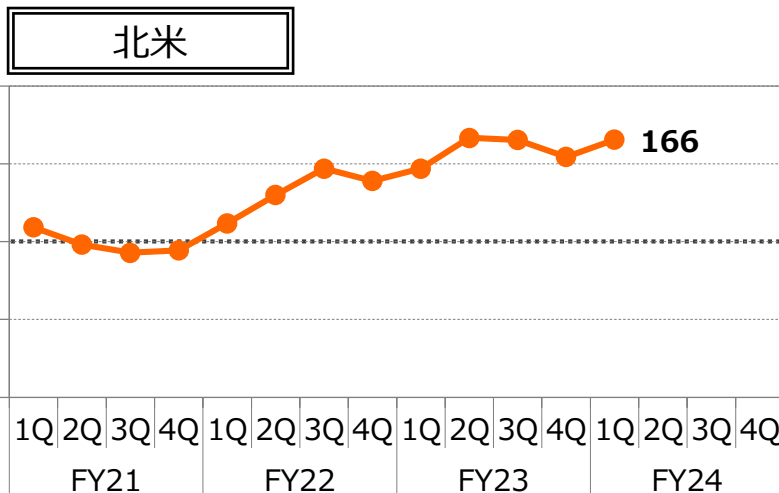
アジア・オセアニア



* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国際旅客（方面別 イールド推移）

指数：コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100



* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国内旅客

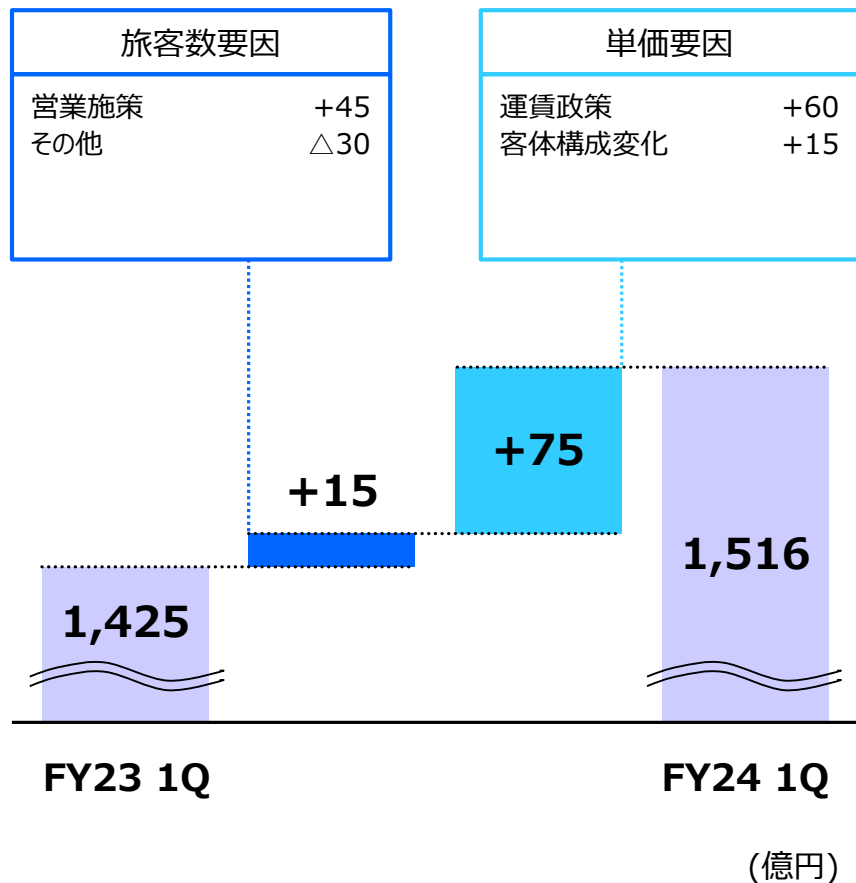
	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万) *1	11,376	11,232	△ 1.3
旅客キロ (百万) *1	7,632	7,729	+ 1.3
旅客数 (千人)	9,672	9,780	+ 1.1
座席利用率 (%) *1	67.1	68.8	+1.7pt*2
旅客収入 (億円)	1,425	1,516	+ 6.3
ユニットレベニュー (円) *1 (旅客収入/座席キロ)	12.5	13.5	+ 7.7
イールド (円) *1 (旅客収入/旅客キロ)	18.7	19.6	+ 5.0
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	14,740	15,502	+ 5.2

*1 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更（前年実績にも変更を反映）

*2 座席利用率のみ前年差

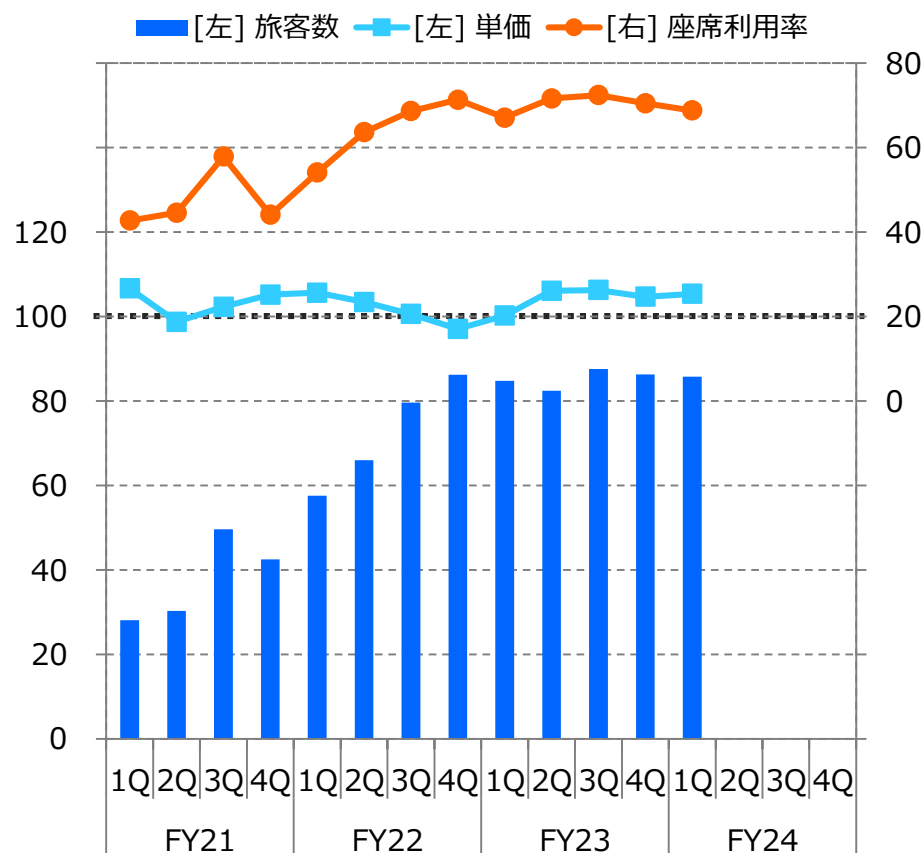
ANA国内旅客（事業動向）

第1四半期 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

[左] 指数（コロナ前（2019年1~12月）各四半期実績=100）
[右] 実績（%）



* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

* 座席利用率は区間距離の定義を大圏距離に置き換えて算定

ANA国際貨物（ベリー＋フレイター）

	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,580	1,578	△ 0.1
有償貨物トンキロ（百万）	864	890	+ 3.1
貨物輸送重量（千トン）	171	174	+ 1.7
貨物重量利用率（%）	54.7	56.4	+1.7pt*
貨物収入（億円）	381	431	+ 13.1
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	24.1	27.3	+ 13.2
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	44.2	48.4	+ 9.7
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	222	247	+ 11.2

* 貨物重量利用率のみ前年差

ANA国際貨物（フレイターのみ）

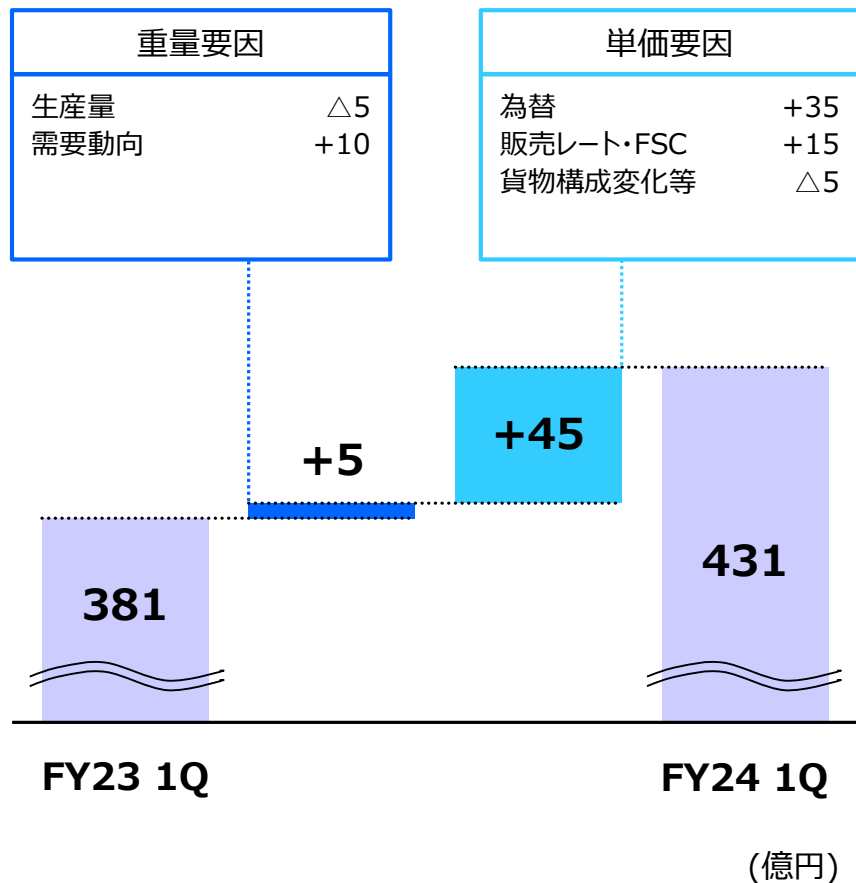
本表のデータは、P.17記載実績の内数

	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	466	429	△ 7.9
有償貨物トンキロ（百万）	296	283	△ 4.2
貨物輸送重量（千トン）	75	69	△ 7.8
貨物重量利用率（%）	63.4	66.0	+2.5pt*
貨物収入（億円）	153	162	+ 5.3
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	32.9	37.7	+ 14.4
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	51.9	57.1	+ 10.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	203	232	+ 14.2

* 貨物重量利用率のみ前年差

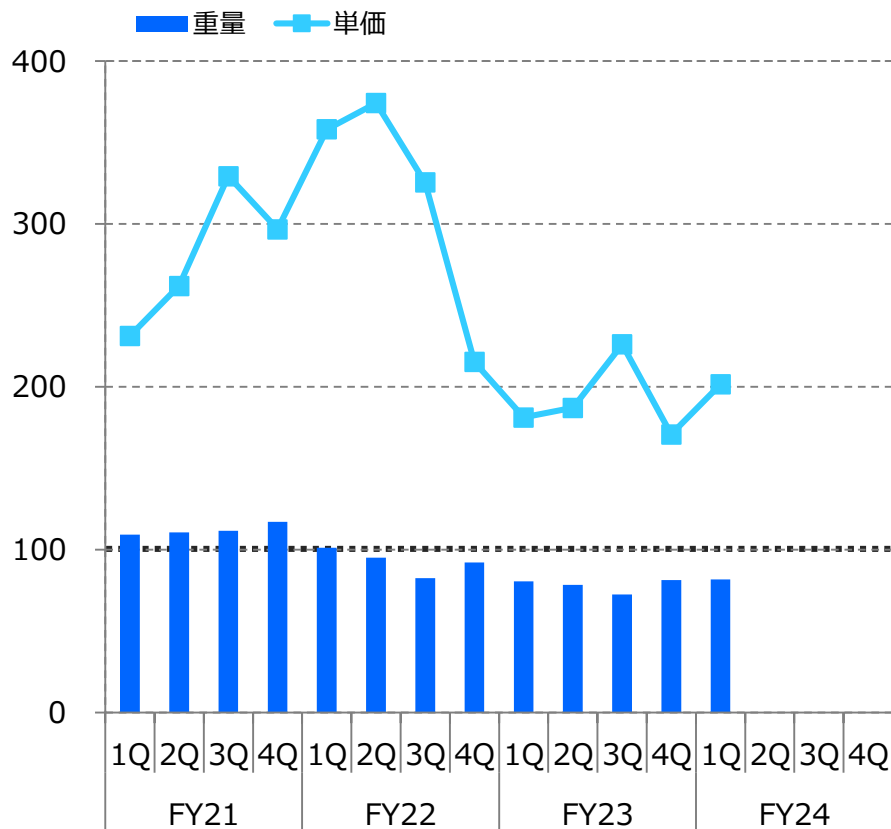
ANA国際貨物（事業動向）

第1四半期 収入増減要因（前年差）



四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100



ANA国内貨物

	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ (百万) *1	356	376	+ 5.6
有償貨物トンキロ (百万) *1	58	63	+ 8.4
貨物輸送重量 (千トン)	58	64	+ 10.6
貨物重量利用率 (%) *1	16.3	16.8	+0.4pt*2
貨物収入 (億円)	52	54	+ 2.9
ユニットレベニュー (円) *1 (貨物収入/有効貨物トンキロ)	14.8	14.5	△ 2.6
イールド (円) *1 (貨物収入/有償貨物トンキロ)	90.9	86.2	△ 5.1
重量単価 (円/kg) (貨物収入/貨物輸送重量)	91	85	△ 7.0

*1 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更 (前年実績にも変更を反映)

*2 貨物重量利用率のみ前年差

Peach Aviation

(国内線・国際線合計)	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万) *1	2,856	3,011	+ 5.4
旅客キロ (百万) *1	2,397	2,557	+ 6.7
旅客数 (千人)	2,158	2,210	+ 2.4
座席利用率 (%) *1	83.9	84.9	+1.0pt*2
売上高 (億円) *3	277	306	+ 10.6
ユニットレベニュー (円) *1 (売上高/座席キロ)	9.7	10.2	+ 4.9
イールド (円) *1 (売上高/旅客キロ)	11.6	12.0	+ 3.6
単価 (円) (売上高/旅客数)	12,844	13,866	+ 8.0

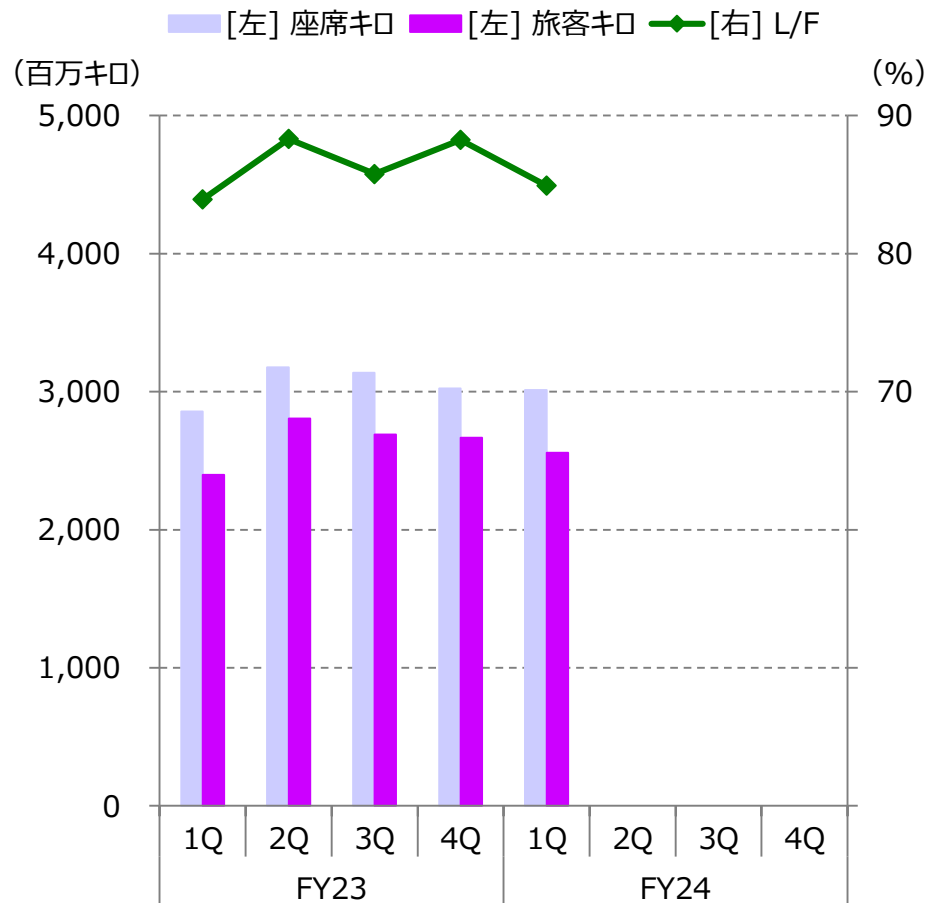
*1 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更 (前年実績にも変更を反映)

*2 座席利用率のみ前年差

*3 売上高に付帯収入を含む

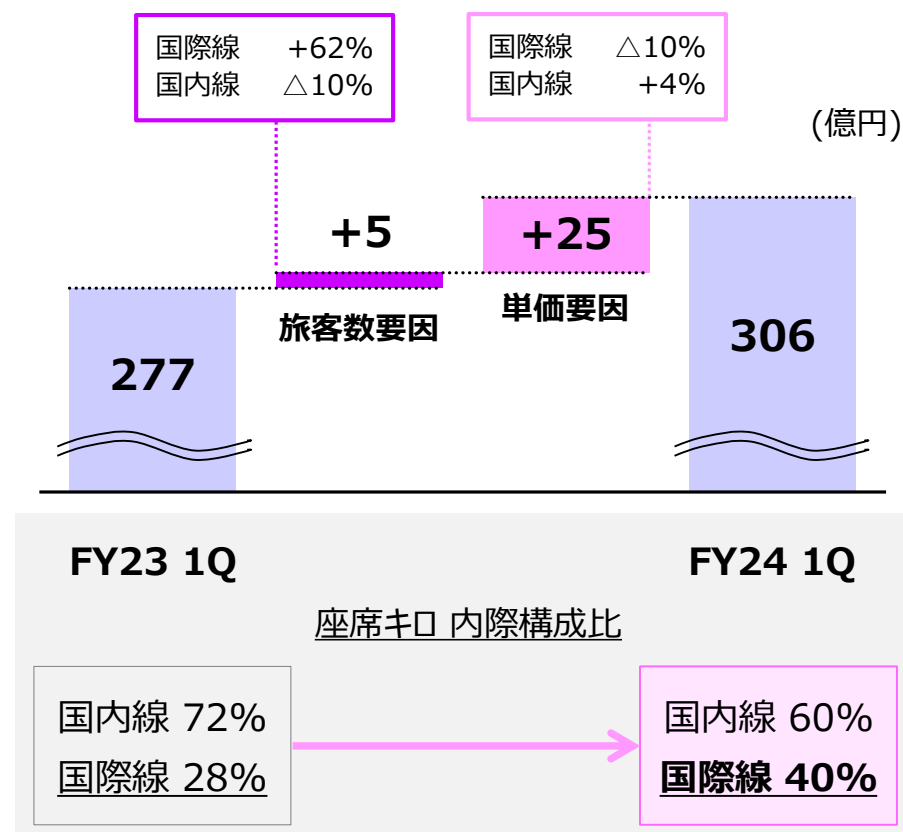
Peach Aviation (事業動向)

四半期別 実績推移 (内際計)



第1四半期の概況

国際線のリソース配分を高め収入を最大化



* 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更 (前年実績にも変更を反映)

AirJapan

FY2024
第1四半期

座席キロ (百万)	491
旅客キロ (百万)	254
旅客数 (千人)	71
座席利用率 (%)	51.9
売上高 (億円) *1	19
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	3.9
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	7.6
単価 (円) (売上高/旅客数)	26,845

*1 売上高に付帯収入を含む

Intentionally Left Blank

ANA国際旅客 方面別実績（構成比）

* CY19は新収益認識基準に置き換えて算定

		FY2024 1Q構成比	前年同期差	CY19同期差
旅客収入	北米	41.7	+ 1.4	+ 10.9
	欧州	14.9	△ 0.6	△ 5.8
	中国	7.8	+ 1.3	△ 6.3
	アジア・オセアニア	30.2	△ 2.4	+ 0.7
	ハワイ	5.4	+ 0.3	+ 0.5
座席キロ	北米	36.6	△ 1.7	+ 4.1
	欧州	11.4	△ 0.9	△ 6.2
	中国	6.5	+ 1.9	△ 3.1
	アジア・オセアニア	35.2	△ 3.2	+ 0.0
	ハワイ	10.3	+ 3.9	+ 5.2
旅客キロ	北米	40.1	△ 2.4	+ 7.0
	欧州	12.3	△ 0.5	△ 5.3
	中国	5.5	+ 2.3	△ 4.2
	アジア・オセアニア	34.5	△ 0.9	+ 0.7
	ハワイ	7.6	+ 1.4	+ 1.7

ANA国際貨物 方面別実績（構成比）

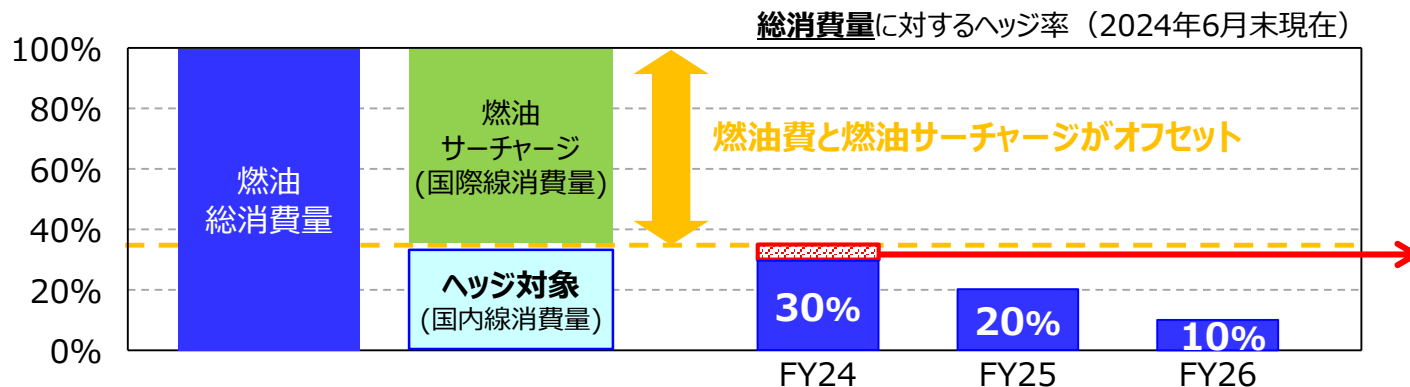
		FY2024 1Q構成比	前年同期差	CY19同期差
貨物収入	北米（ハワイを含む）	50.0	+ 11.4	+ 13.3
	欧州	7.7	△ 2.0	△ 7.2
	中国	21.5	△ 2.5	△ 0.1
	アジア・オセアニア	19.2	△ 6.9	△ 4.2
	その他	1.6	△ 0.1	△ 1.8
有効貨物 トンキロ	北米（ハワイを含む）	50.5	+ 4.7	+ 6.3
	欧州	6.3	△ 0.1	△ 6.5
	中国	14.7	+ 0.4	+ 0.7
	アジア・オセアニア	28.0	△ 5.0	+ 0.9
	その他	0.4	+ 0.0	△ 1.4
有償貨物 トンキロ	北米（ハワイを含む）	53.1	+ 2.8	+ 9.3
	欧州	8.4	△ 1.6	△ 8.5
	中国	13.9	△ 0.2	+ 1.2
	アジア・オセアニア	24.0	△ 0.8	△ 0.7
	その他	0.7	△ 0.0	△ 1.3

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANA)

1. 燃油ヘッジ 基本方針

- 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
- 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージで対応)

(US\$/bbl)	FY24 1Q実績	FY24前提
ドバイ原油	85.3	80
シンガポールケロシン	98.5	100

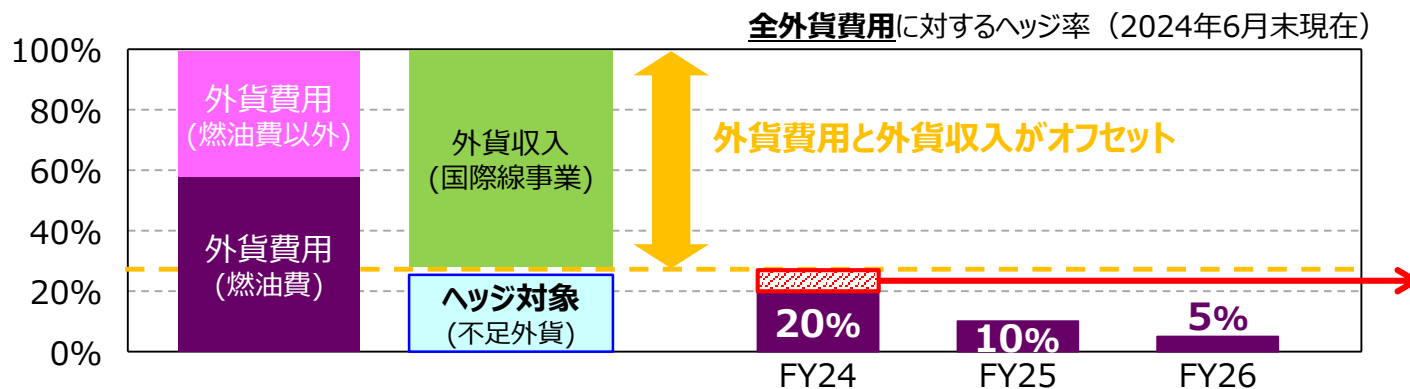


2024年度 収支感応度*
(1US\$/bblの変動)
±約2億円/年
(ヘッジ考慮後)

2. 為替ヘッジ 基本方針

- 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)

(円/US\$)	FY24 1Q実績	FY24前提
ドル円レート	155.8	140



2024年度 収支感応度*
(1円/US\$の変動)
±約3億円/年
(ヘッジ考慮後)

* 2024年度業績予想の前提となる事業計画および燃油・為替市況に基づく感応度

航空機数

	FY2023 期末	FY2024 第1四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
Airbus A380-800	3	3	-	3	-
Boeing 777-300/-300ER	18	18	-	9	9
Boeing 777-200/-200ER	10	10	-	10	-
Boeing 777-F	2	2	-	2	-
Boeing 787-10	5	7	+ 2	6	1
Boeing 787-9	43	43	-	37	6
Boeing 787-8	35	34	△ 1	29	5
Boeing 767-300/-300ER	15	15	-	15	-
Boeing 767-300F/-300BCF	9	9	-	6	3
Airbus A321-200neo	22	22	-	-	22
Airbus A321-200	4	4	-	-	4
Airbus A320-200neo	11	11	-	11	-
Boeing 737-800	39	39	-	26	13
De Havilland Canada DASH 8-400	24	24	-	24	-
ANA 計	240	241	+ 1	178	63
Airbus A321-200neoLR	3	3	-	-	3
Airbus A320-200neo	15	17	+ 2	-	17
Airbus A320-200	19	17	△ 2	-	17
Peach Aviation 計	37	37	-	-	37
Boeing 787-8	1	2	+ 1	2	-
AirJapan 計	1	2	+ 1	2	-
グループ計	278	280	+ 2	180	100

航空事業以外のセグメント

(億円)	航空関連事業			旅行事業		
	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差
売上高	675	750	+ 75	177	166	△ 10
営業利益	31	△ 0	△ 32	1	△ 7	△ 8
減価償却費	9	9	△ 0	0	1	+ 1
EBITDA (営業利益+減価償却費)	41	8	△ 32	2	△ 5	△ 7
EBITDAマージン(%)	6.1	1.2	△ 4.9pt	1.4	-	-

	商社事業			その他		
	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差	FY2023 第1四半期	FY2024 第1四半期	前年差
売上高	275	318	+ 42	90	103	+ 12
営業利益	11	13	+ 1	0	2	+ 2
減価償却費	2	2	+ 0	0	0	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	14	15	+ 1	0	2	+ 2
EBITDAマージン(%)	5.1	4.9	△ 0.2pt	0.4	2.7	+ 2.3pt

(Memo)

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ワクワクで満たされる世界を

私たちは、空からはじまる多様なつながりを創り、
社員・お客様・社会の可能性を広げていきます。

グループ行動指針
(ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)
安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)
常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)
誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)
多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)
グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、感染症の継続・拡大、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部

Eメール : ir@anahd.co.jp